

新人看護職員研修だより

公立甲賀病院 看護部 教育委員会 新人看護職員研修担当

2014/12/01 第8号

【平成26年 新人看護職員研修後半の研修風景や学びをお伝えします。】

ローテーション研修

研修期間：2014. 7月7日～9月5日

研修場所：外科系（2階東、2階東、3階西、3階東）

内科系（4階東、4階西、5階東）

救急医療室、ICU



ローテーション研修を終えて

2階東病棟 M・A

研修場所：5階東 H26.7.7～7.18

今回、内科病棟で研修を行うにあたり私は、経験の少ない技術や、様々な疾患・治療・看護を学ぶことを目標として研修に取り組みました。研修先の病棟では慢性的な疾患で、退院後も自分の疾患と付き合いしていく必要のある患者さんが多く入院されていました。そのような患者さんに早期から、退院後の生活に向けて具体的な指導を行い、病状の再発や悪化を予防することが大切だと学びました。また、患者さん一人ひとりに適した看護計画を、その都度立案・修正し看護の方向性を見極めることの重要性を学ぶことができました。

今回学んだことを所属病棟で活かし、自分の看護に繋げていきたいと思っています。

ローテーション研修を終えて

4階西病棟 A・F

研修場所：3階東 H.26.7.7～7.18

外科病棟で2週間研修をさせていただきました。外科病棟では手術前後の看護を学び、自分の所属部署では経験できないケアや処置も学ぶことができました。特に、術後は異常の早期発見と全身状態の観察を継続して行うことが生命維持に繋がるため、バイタルサインなどの数値だけを見るのではなく、麻酔の覚醒状況の確認や患者の訴えなど、より具体的に患者さんの状態を観察することが大切であると学びました。外科病棟に限らず、観察は患者の状態把握に欠かせないため、このローテーション研修での学びを今後活かしていこうと思います。

実地指導者の方より

新人研修、ローテーション研修を受け入れて

ICU・救急医療室 A・G

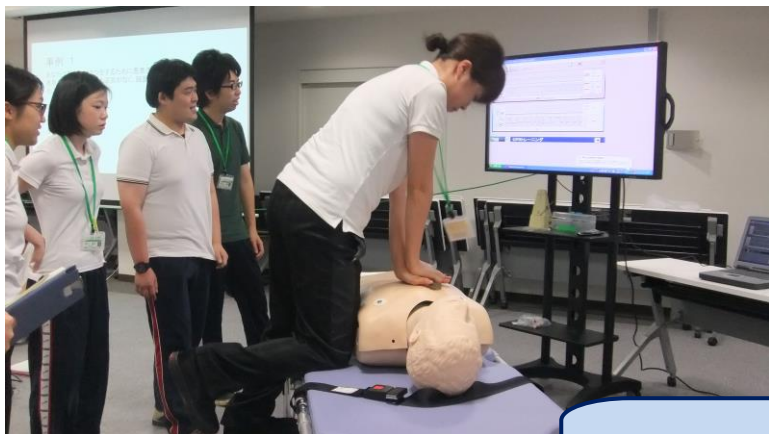
新人看護師のローテーション研修で救急医療室の実習とICUでの見学・一部介助をして頂きました。救急医療室は、日により状況が違い、指導方法や、内容も違ったと思います。また、ローテーションの時期により学びにも少し差はあったかと思いますが、救急、ICUの特殊性が少しでも理解してもらえたと感じます。

救急や、ICUでの看護はローテーション研修期間でしか経験できませんが、研修での学びをこれからの看護に活かしてください。

救急看護研修

2014. 6. 18

一次救命処置(BLS)について学びました！！



講師の方から

BLS 研修の講義をして

5階東病棟 T・H

6月に新人研修にてBLS研修を担当させて頂きました。他病院の新人看護職員や研修担当者、当院で自分よりも経験豊富な先輩方の前で講義を行ったことは、とても緊張しました。研修を行った反省として、段取りが悪かったこと、BLSの処置の根拠を丁寧に伝えることができなかつた事です。人に伝えることの難しさと、曖昧な知識しかないことを痛感しました。今回、研修を受けた新人職員の皆様には今後いろいろなパターンの急変に遭遇することがあると思います。根拠に基づいて基本を忘れずにBLSが実践できるよう期待しています。

院外宿泊研修

2014. 9. 11~9. 12 ダイヤモンド滋賀



宿泊研修を終えて

4階東病棟 N・T

研修では他部署の同期の悩みや進行状況を聞くことができました。話を聞くと皆同じような悩みをもっているのだと再認識でき、少し安心することができました。また、今の自分の課題を明確にし、解決策を学ぶことができたので、今後実践しより良い看護師を目指していきたいと思います。そのために今の私が、出来ることとは、患者さんの訴えや状態に対し焦らず周りの先輩看護師に相談し解決することや、様々な疾患や技術などの勉強、タイムスケジュールを常に見直し優先順位を考えて行動していくなどが挙げられます。この研修を通して学んだことや考えたことを忘れず、これからの看護に繋げていきたいと考えます。



各グループで
まとめた内容を
発表しました！

宿泊研修を終えて

3階東病棟 N・S

宿泊研修において、同期の看護師同士とグループワークやレクリエーション等を行い普段の看護業務の中では学べないことを学ぶことができました。

看護師として働き出して約半年が経過し悩むこともたくさんあり、看護師としてやっていけるだろうかという不安を抱いていた時期でした。宿泊研修で同期の看護師や先輩方と関わらせて頂き、悩みを抱えているのは自分だけではないということや先輩方のサポートが受けられ現在の自分があるということや再認識でき、今後も看護師として働いていく励みになりました。看護師同士が支え合い乗り越えていくことが沢山あるということ、今回の宿泊研修で改めて感じました。



自分たちでレクリエーション
企画運営しました。
楽しい時間を過ごしました！



☆ 最後にみんなで記念撮影！良い思い出ができました！



実地指導者より

2014. 11. 12 「新人看護職員研修体制について」

公開講座を受講して

4階西病棟 S・T

今回、公開講座を受講させていただきました。いちばんの学びは、看護は講義や書物を通して教え得るものではなく、患者のベッドサイドや病室内でのみ教え得るということです。看護基礎教育における臨時実習時間の減少が現状としてありますが、それを補うのは、講義や教科書ではなく患者と関わることです。4月から実地指導者として新人看護師と関わってきましたが、課題を出すことも少なくありませんでした。しかし、指導を通し新人が患者と多く関わり、自ら疑問点を見だし学習をするのがいちばんの学びになると感じることができました。新人看護師が看護に対する誇りを持てるように指導に携わっていきたいと思います。

5階東病棟 I・U

この研修に参加し、私は新人看護師に対する指導の中で、看護ケアや技術の習得に重きを置いていたことに気付きました。しかし、基本姿勢や態度が看護師人生のベースになっていくことを学び、社会人としての仕事に対する姿勢や私の看護観を新人に態度や言葉で伝えていくことが大切だと感じました。看護観は、一人一人違うため、私の看護観を伝えることで新人看護師が自分の看護観について考えていくきっかけになればよいと思います。また、フィードバックの大切さも改めて感じました。日々忙しい業務ですが、フィードバックを行うことで毎日を素通りしないよう振り返る必要があります。今後、新人看護師が自ら学ぼうとする姿勢を大切に指導していきたいと考えます。



今後の研修予定

12月17日・感染管理 part 3

・フィジカルアセスメント

1月26日・看護倫理(日程変更しています)

2月12日・合同研修

(1年間の振り返りと2年目への課題)



編集後記

宿泊研修やローテーション研修もおわり、いよいよ研修も終盤に差し掛かってきました。受け持ち患者さんも増え、毎日緊張の連続です。先輩方の教を胸に、目標に向かって前進していきます。引き続き、ご指導を宜しく願いいたします。

担当：田中 有加吏 ・ 吉田 良美

